

## 12 第3次環境基本計画

表 指標 環境指標一覧

## 基本目標1 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

	指標項目	指標設定の考え方	単位	目標値		
				基準年度 H26	H31	H36
1	自然公園指導員の委嘱数	自然公園の保護・保全の促進の指標として、自然公園内で動植物の保護活動や普及啓発活動等を行う自然公園指導員の委嘱数を設定	人	78	79	79
2	景観行政団体	景観行政全般にわたり身近な市町村がきめ細かい施策を行うための体制づくりの指標として、景観法に基づく県内の景観行政団体の数を設定	団体	13	18	18
3	NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数	専門性が高く、熱意や機動力があり、県民参加型の活動を多く取り入れているNPOと県が連携して行う保全活動数を設定	件	80	90	96
4	鳥獣保護区特別保護地区の面積	野生鳥獣を保護し、その生息・生育環境を保全するため、保護・管理体制の充実の指標として、特別保護地区の面積を設定	ha	548	658	658
5	災害に強い森林づくり実施面積（累計）	流木発生の可能性が高い人工林の更新伐、林内整備を行い自然植生の回復を図り、森林の公益的機能を増加する指標として設定	ha	99	270	420
6	間伐面積	森林の持つ公益的機能を高度に発揮していくためには、間伐等の適正な森林整備が必要であるため指標として設定	ha	4,547	5,000	5,000
7	ジオガイドの活動回数	ジオパークの受入れ体制の整備及び活動の状況を示す指標として設定	回	14	120	180
8	一人あたりの都市公園面積	公園は環境の保全、防災機能、地域振興等多様な機能が認められることから、都市計画区域内の一人あたりの面積を設定	m <sup>2</sup> /人	13.1	13.2	13.4
9	森林ボランティア活動への参加者数	県民総参加の森林づくり活動の状況を把握するため、森林の大切さを理解し、自主的に森林づくり活動（植林、下刈り等）へ参加した人数を設定	人	12,902	13,500	14,200
10	人工海浜の箇所数	海岸部の親水性や景観の向上を計るものとして設定	箇所	5	6	7
11	多面的機能支払交付金制度事業計画認定面積	多面的機能の発揮に必要な地域が共同で行う農用地、農業用水路、農道等の農業資源の管理活動による環境保全の状況を把握するために設定	ha	20,514	24,800	28,000
12	中山間地域等直接支払制度協定締結面積	農地や水路の管理の状況を把握するために、中山間地域の集落活動により、中山間地域等直接支払制度を活用している面積を設定	ha	16,065	16,100	16,100
13	漁場再生面積	沿岸域の生産力向上を図るために、藻場造成、海底堆積物の除去や干潟の耕うん等の面積を指標として設定	ha	20,975	32,400	33,600
14	国・県指定文化財数	県内には史跡、名勝、動植物等の天然記念物など、多くの貴重な文化財が存在しており、将来にわたって保存・活用するために設定	件	894	920	945
15	県立歴史博物館・県立先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数	郷土の文化や歴史の理解促進、文化財・伝統文化の愛護意識を醸成するための指標として設定	千人	101	113	115
16	モニタリングを行う源泉数	地熱発電をはじめ、多目的な温泉利用が増加する中、有限な温泉資源を将来にわたって利用できるよう各温泉地の現状を把握し、資源保護を図るため設定	個	16	25	26

## 基本目標 2 循環を基調とする地域社会の構築

	指標項目	指標設定の考え方	単位	目標値		
				基準年度 H26	H31	H36
17	PM2.5の環境基準達成日率	PM2.5の生活環境への汚染状況を把握し、汚染防止対策を評価するための指標	%	96.6	97.3	98.0
18	光化学オキシダント環境基準達成時間率	オキシダントの発生原因とされるVOC対策など、大気保全対策を評価する代表的な指標として設定	%	94.2	96.1	98.0
19	主要渋滞箇所対策を講じる箇所数（累計）	渋滞の緩和を図ることが、自動車排ガス対策の推進に資するため設定	箇所	-	21	30
20	道路交通騒音の環境基準達成率	環境基準達成状況を評価し、道路交通騒音の状況を把握することにより、騒音対策等環境行政に資するために設定	%	94.3	95.0	96.0
21	海域の環境基準達成率	海域における水質の状況を把握するとともに、水質保全に係る施策の実施状況を評価するために設定	%	66.7 (H25)	90.4 (H30)	95.2 (H35)
22	河川の環境基準達成率	河川における水質の状況を把握するとともに、水質保全に係る施策の実施状況を評価するために設定	%	83.7 (H25)	93.0 (H30)	97.7 (H35)
23	生活排水処理率	「大分県生活排水処理施設整備構想2015」に基づいて、下水道、農業集落排水、浄化槽等による生活排水処理率を引き上げるために設定	%	72.3	79.7	88.2
24	地下水水質調査地点数（累計）	地下水の水質調査は、土壌汚染の早期発見に資するもので、調査地点の積み重ねにより県下全体の状況が把握できるために設定	地点	3,303	3,800	4,300
25	水環境保全活動団体数	県民が水環境への程度親しんでいるかを見る化するため、河川の清掃・美化活動、水環境教育活動等に取り組む水環境保全活動団体数を設定	団体	50	85	89
26	海岸清掃参加者数	県民自らの手によるきれいな海岸づくりの進捗状況を知る指標として設定	人	14,128	32,300	32,300
27	レジ袋削減枚数（累計）	製造過程や廃棄時に二酸化炭素が発生するレジ袋について、ごみの減量や地球温暖化の防止の観点から指標として設定	百万枚	522	931	1,332
28	ごみ総排出量	廃棄物問題と個々の県民の関わりの深い一般廃棄物について、県全体の総排出量を認識できる指標として設定	t	415,962 (H25)	385,142 (H30)	372,813 (H35)
29	一般廃棄物リサイクル率	一般廃棄物の再生利用のための取組は、個々の県民や家庭に身近であって、ごみ減量・リサイクル推進活動の象徴的な役割もあることから設定	%	20.3 (H25)	22.4 (H30)	24.6 (H35)
30	産業廃棄物リサイクル率	産業廃棄物のリサイクルが循環型社会形成の推進に重要であるため設定	%	64.0 (H25)	64.2 (H30)	64.3 (H35)
31	産業廃棄物最終処分率	産業廃棄物の最終処分抑制が循環型社会形成の推進に重要であるため設定	%	2.3 (H25)	2.0 (H30)	2.0 (H35)
32	廃棄物系バイオマス利用率	バイオマス資源の利活用の進捗状況を把握するため、廃棄物系バイオマス資源の利用率を設定	%	95.8 (H25)	98.1 (H30)	98.7 (H35)
33	未利用バイオマス利用率	バイオマス資源の利活用の進捗状況を把握するため、未利用バイオマス資源の利用率を設定	%	65.0 (H25)	70.8 (H30)	77.4 (H35)

## 基本目標3 地球温暖化対策の推進

	指標項目	指標設定の考え方	単位	目標値		
				基準年度 H26	H31	H36
34	二酸化炭素排出量（家庭、業務、運輸部門合計）	温室効果ガスのうち二酸化炭素が地球温暖化の主な要因であることから、県内の家庭、業務、運輸部門における二酸化炭素排出量を設定	千t-CO <sub>2</sub>	6,961 (H25)	6,400 (H29)	5,700 (H34)
35	省エネ診断受診件数(累計)	家庭部門や業務部門における二酸化炭素排出量の削減、節電・省エネ対策を推進するため省エネ診断受診数を指標として設定	件	1,333	4,713	8,213
36	エコアクション21登録件数(累計)	企業における環境マネジメントの構築において、エコアクション21の登録は大きな意義を有しており、その登録状況を把握するために設定	件	39	104	154
37	大分県ノーマイカーウィーク年間モニター事業所登録数	運輸部門における二酸化炭素排出量の削減対策として、広く県民に公共機関の利用や徒歩、自転車での通勤を奨励するために設定	件	379	398	417
38	エコエネルギー活用率	エコエネルギーの導入促進や省エネルギーの推進の成果を総合的に評価できる指標として設定	%	33	42	51
39	クリーンエネルギー自動車の導入台数	運輸部門におけるエネルギー消費量を削減するために設定	台	45,430	83,715	122,000
-	間伐面積（再掲）	森林の持つ公益的機能を高度に発揮していくためには、間伐等の適正な森林整備が必要であるため指標として設定	ha	4,547	5,000	5,000

## 基本目標4 環境を守り育てる産業の振興

	指標項目	指標設定の考え方	単位	目標値		
				基準年度 H26	H31	H36
40	県支援による新エネ研究開発・事業化件数(累計)	温室効果ガスの削減や環境負荷の低減につながる新エネルギーに関する研究開発を促進する指標として設定	件	24	54	84
41	県支援による廃棄物再生利用等施設導入件数(累計)	産業廃棄物等の発生抑制・減量化及び再生利用を促進し、県内発生産業廃棄物の最終処分量の削減を推進するために設定	件	25	55	85
42	大分県リサイクル認定製品数(累計)	廃棄物の有効活用及びリサイクル産業の育成を推進し、認定製品の利用促進を図るために設定	件	243	333	423
43	化学肥料の使用量	農業生産現場における化学肥料の使用は、環境への負荷があるため、低減を図ることを目的として設定	t	4,666 (H25)	4,500 (H30)	4,330 (H35)
44	農薬の使用量	農業生産現場における農薬の使用は、環境への負荷があるため、低減を図ることを目的として設定	t	1,248 (H25)	1,425 (H30)	1,170 (H35)
45	グリーンツーリズム宿泊延べ人数	都市と農山村漁村との交流によるグリーンツーリズムが推進されることにより、自然とのふれあいの機会が増加すると考え、指標として設定	人泊	23,416	28,300	33,500

## 基本目標5 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

	指標項目	指標設定の考え方	単位	目標値		
				基準年度 H26	H31	H36
46	県民一斉おおいたうつくし大行動への参加者数	県民の自主的な環境保全活動の取組の促進を図る指標として設定	人	354,556	379,000	404,000
47	キャンドルナイトへの参加施設数	県民の自主的な環境保全活動の取組の促進を図る指標として設定	団体	2,765	3,193	3,368
48	環境基本計画策定市町村数	市町村における環境基本計画は、地域の自然的社会的条件に応じた環境の保全のために必要な施策を、総合的かつ計画的に推進するものであることから指標として設定	市町村	9	11	13
49	環境教育参加者数(累計)	県民の環境意識の向上の指標として、環境教育アドバイザー講座、環境劇の2つの環境教育参加者数を設定	人	63,082	98,000	133,000
50	おおいた環境学習サイト「きらりんネット」年間アクセス件数	インターネットを活用した情報提供や啓発による県民への環境教育の推進度合いを把握するために設定	件	7,154	9,000	11,000